

事業評価書

補助事業名	ホイルローダー購入						
補助事業者名	読谷村長						
実施場所	読谷村字儀間地内(草木資源化施設)						
補助事業の成果の目標	<p>本村では、公園等公共施設や各家庭から搬出される草木を重機でチップ化し、緑化に資する材料として活用することでごみの減量化及び地域環境の美化促進を図ってきた。しかし、現在使用しているホイルローダーは経年劣化(耐用年数経過)により、故障等が頻繁に発生している為、草木の場内整理等ができない日もあり、業務に支障を来している状況である。本事業を活用し、老朽化したホイルローダーを更新することにより安定的な草木の処理作業が可能となり、ごみの減量化及び地域環境の美化促進の向上を図ることができる。</p>						
補助事業の内容	物品購入 ホイルローダー 1台						
補助事業の始期及び終期	令和4年度						
事業費及び交付金額		令和4年度					計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	4,680,500					4,680,500
		4,680,000					4,680,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 読谷村草木資源化施設内に納品された新たなホイルローダーは、処理能力が上がっていることや故障がなくなったことで、スムーズな場内整理や草木のチップを安定的に提供できるようになった。 ※草木搬入実績(R5. 3~R6. 1月):2,354,070kg 以上のことから、ごみの減量化及び地域環境の美化促進の向上が図れたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページへの掲載済。 2) ホイルローダー本体に調整交付金事業である旨を記載済。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	ホイルローダーの適正な管理を行うとともに、今後も住民へ草木資源化施設の利用とチップの無料配布を周知していく事で、ごみの減量化と地域環境の美化促進を図っていきたい。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	社会教育福祉車両購入						
補助事業者名	読谷村長						
実施場所	読谷村字座喜味地内						
補助事業の成果の目標	読谷村は、福祉活動等に利用する目的で、マイクロバスを各種団体への貸出を行っていたが、購入後21年が経過し、令和3年度に老朽化にともない廃車したため、各種団体の福祉活動に支障をきたしている。 このことから、本事業を活用しマイクロバスを購入することで、安定的な福祉活動の展開に寄与することができる。						
補助事業の内容	物品購入 マイクロバス 1台						
補助事業の始期及び終期	令和4年度						
事業費及び交付金額		令和4年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	8,547,000					8,547,000
	交付金額	8,547,000					8,547,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業でマイクロバスを購入したことで、安定的な福祉活動の展開に寄与することができた。事業完了後1年間の利用回数は59回だったため、安定的な運用ができ、成果の目標を達成できたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページへ掲載済。 2) マイクロバスへ「防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム」を掲示済。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	今後も安定的な福祉活動が展開できるよう、マイクロバスの維持管理をしっかりと行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	牧原公園東屋設置工事						
補助事業者名	読谷村長						
実施場所	読谷村字比謝地内						
補助事業の成果の目的	<p>牧原公園は、平成元年に整備され、地域住民の憩いの場として利用されている。</p> <p>本公園では東屋など休憩施設が無い状況にあり、公園利用に不便さを感じている状況にある。</p> <p>このことから、本事業により東屋を設置することで、公園施設の利便性の向上を図る。</p>						
補助事業の内容	整備工事 東屋 1基						
補助事業の始期及び終期	令和4年度						
事業費及び交付金額		令和4年度					計
	事業費	9,350,000					9,350,000
	交付金額	9,000,000					9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>本事業により東屋を設置することで公園施設の利便性向上を図ることができた旨を牧原自治会（地元住民や公園利用者）へのアンケート調査を通して確認し、成果の目標が達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村ホームページへ特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を掲載済。（令和4年度事業一覧及び東屋設置工事事業として、それぞれで掲載済） ・工事施工中及び東屋完成時に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」（防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む。）である旨を現場に掲載済。 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地元のニーズに適切に対応するよう努め、公園の維持管理を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	牧原自治会ふるさと文化教育普及事業						
補助事業者名	読谷村長						
実施場所	読谷村字比謝地内						
補助事業の成果の目的	牧原区の旧集落は、米軍提供施設内（嘉手納弾薬庫地区）に所在する。戦後77年が経過し、旧集落の存在・歴史をよく知らない世代が増加している。牧原旧集落について理解を深め、自分たちの故郷に対する愛着や誇りを育む。						
補助事業の内容	牧原自治会ふるさと文化教育普及事業						
補助事業の始期及び終期	令和4年度						
事業費及び交付金額		令和4年度					計
	事業費	3,399,000	円	円	円	円	円
	交付金額	3,000,000					3,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業により区民が旧集落への理解を深め、変わらぬ愛着や誇りを持つことができた旨を牧原自治会へのアンケート調査を通して確認し、成果の目標が達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村ホームページへ掲載済み ・工事施工中及びモニュメント完成時に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」（防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む。）である旨を現場に掲載済み 						
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、ふるさと文化の普及に取り組む。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	読谷村給食調理場物品購入							
補助事業者名	読谷村長							
実施場所	読谷村字座喜味地内							
補助事業の成果の目標	<p>本村は、小中学校の児童生徒に安全・安心な給食を提供するよう調理場の環境衛生の保持及び調理機器の衛生管理に取り組むと共に、老朽化した渡慶次給食調理場及び古堅給食調理場の機能を読谷給食調理場や読谷第二給食調理場へ集約する計画としている。</p> <p>この計画による読谷給食調理場改修工事に伴い、老朽化した洗浄機等の更新、改修後の搬送方式に対応する給食配送車の導入を行うことで、調理機器や食品の衛生管理の向上を図り、児童生徒に安全・安心な給食を提供するものである。</p>							
補助事業の内容	物品購入 カゴごと洗浄機1台、コンテナ洗浄機1台、コンテナイン消毒保管機2台、食缶類洗浄機1台、ドックシェルター対応給食配送車両2台							
補助事業の始期及び終期	平成30年度から令和4年度まで							
事業費及び交付金額			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	基金造成額	交付金額	円	円	円	円	円	円
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	0	0	0	0	0
		計	15,339,000	21,074,000	21,138,000	41,010,000	0	98,561,000
	基金処分量	0	0	0	0	98,561,000	98,561,000	
基金残額	15,339,000	36,413,000	57,551,000	98,561,000	0	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 児童生徒への安心・安全な給食の提供について、沖縄県環境科学センターによる施設衛生検査を実施した結果、県内平均よりも上回った検査成績を得られたことから、本事業の成果は得られたものと評価できる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページへ掲載済。 2) 購入備品に「令和4年度沖縄防衛局調整交付金事業」とプレート貼付済。 3) 給食配送車へ「令和4年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載済。 4) 建物の壁面に耐久性のあるプレートに掲示済。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	今後も衛生管理の向上に努め、児童生徒に安全・安心な給食の提供できるよう運用していく。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	一般財団法人沖縄県環境科学センター							